



河口正喜 享年32歳 「帽子の少女」
◇15日以降、絵画実物展示いたします。

一度だけでいい
あなたに見せたい絵がある。

あの太平洋戦争下
生きて還って絵を描きたいと叫びながら
遠い戦地に散った若き画学生たち
戦後六十余年 全国のご遺族が守り通した
遺作、遺品三百余点の中から
今回、戦地からの絵葉書、手紙などを借り受け
公開します。

確かめてください。
彼らの残した「生の証」を・・・
ぜひご覧ください。

無言館って？

「戦没画学生慰霊美術館」とあるように、美術学校で、あるいは独学で美術を学んでいたが、若くして戦没した画学生の遺作・遺品を集めた美術館。
館長は、窪島誠一郎氏、所在地は長野県上田市

(無言館HPより)

無言館への手紙

カタカナにイラスト入りの子どもへのハガキ、妻への長い、絵入りの手紙、みんな家族とぶつうのくらしをしている人達だったのに・・・こく「ぶつう」のくらしを出来なくする戦争を、二度と、どこにも起こすまいと思いました。

(無記名)

(女=K・A)

「無言館」所蔵品による

戦没画学生「戦地からの絵葉書」展

2011年6月11日(土)～6月28日(火) 午前10時～午後5時

九里学園教育センター2F展示エリア (教育センター玄関よりお入り下さい。駐車場はお祭り広場をご利用下さい) (また、車椅子で来られる方は、事前に九里学園教育研究所にご連絡下さい)

11日午前10時から開会セレモニー

18日午後1時半から河口正喜氏のご子息、正彦氏の講演会予定。

◇入場無料 ◇共催/お問合せ

九里学園教育研究所

(0238-22-0091)

憲法9条を護る米沢市民の会・米沢9条の会 (0238-21-0191)